

一貫教育校の広場

幼稚園

横浜初等部

普通部

中等部

湘南藤沢
中等部・高等部

高等学校

志木高等学校

女子高等学校

ニューヨーク学院
(高等部)

コロナ禍の学校行事

●女子高等学校 主事 向吉政人 むこよしまさと

女子高等学校は、今年度、開校72年目である。この春、3年生が卒業することによって、累計の卒業生の人数は1万2000人を超える。生徒たちが在学中、勉学や部活動、生徒会活動と並ぶ熱量を注ぐのが、次々と用意される学校行事である。その一つ一つを生徒たちが主体となって、自律的に運営していくのが本校の最大の特徴であり、女子高の矜持もよおしである。毎年6月、全クラスが参加する「演劇会」、9月に外部の陸上競技場を貸し切って実施する「運動会」、そして10月に華やかに行われる「十月祭」は、生徒たちから三大行事と呼ばれ、これらを立案・運営する各行事の「実行委員会」の委員長と副委員長は、前年度に全校生徒が選挙で選んでいる。

ところが、全国の多くの学校がそうであったように、昨年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延で通常開催がかなわず中止となってしまった。楽しみにしていた生徒には本当に申し訳ないが、安全第一には替えられない。「涙をのんで」中止となり、校内での展示等の「代替企画」にとどめられた。この代の3年生は今の大学1年生。修学旅行も早々に中止となっており、最終学年で行事が通常開催できなかつたのは、実につらい出来事であった。そうした経緯があり、今年度は学校行事を開催すること



に全力が注がれた。新型コロナウイルスの蔓延度は昨年以上であったが、教職員は大学での接種、生徒は地域接種が進んでいり、不織布マスクの勧奨と手洗い・手指消毒の徹底により、校内でのウイルス伝播が起きないように図った上でのことである。生徒は普段からアルコール消毒液を頻繁に使い、多くの者が不織布マスクを用いるようになった。皮膚がかぶれやすい生徒は、時折、ウレタンマスクをその下につける等、工夫をしてくれた。

生徒や教職員のこうした地道な努力も報われ、今年度は「三大行事」を「通常に近い形」で開催することができた。演劇会はマスク劇者を入れず、オンラインで配信した。マスク特有の演目を選ばれるかと思いきや、マスクをつけた「白雪姫」や「アリス」「ジャンヌ・ダルク」「オペラ座の怪人」が登場。本校生徒のたくましさの表れであろう。運動会は5月に早めて校舎屋上での実施。競技者だけが集い、応援はこれもオンライン映像の視聴で。十月祭は各家庭1名のみのも来場とし、展示、ゲーム、演奏や演技を実際に見ていただいた。演者は原則、マスクの着用とした。

残念ながら、毎年5月の「宿泊行事」は中止となったが、3年生の修学旅行だけは、2月に順延し泊数を減らして何とか実施したいと考えている。